

平成 31 年度

編入学 専門科目試験問題

[出題意図、解答・解答例]

【問題 1】 看護実践に関わる基礎的知識を問う。

①	骨格筋	②	胸・腹腔臓器／臓器
③	褐色脂肪	④	インフォームドアセント
⑤	アドボカシー	⑥	合計特殊
⑦	地域包括	⑧	ケア
⑨	ヘルスプロモーション	⑩	ノーマライゼーション
⑪	日和見	⑫	アンドラゴジー
⑬	ビタミンD	⑭	手段的
⑮	播種		

【問題 2】 看護実践に関わる基礎的知識を問う。

1	○	2	○	3	○	4	× 3-10 日
5	× 減少	6	○	7	× ラポール	8	○
9	○	10	× 晩期症状	11	× 対象である		

【問題3】生活習慣病予防に関する基礎知識を問う

一次予防	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活習慣の改善：栄養バランスを整える、腹八分にする、夕食時間を早める ・適正な飲酒：休肝日を作る、1日の飲酒量を減らす（500ml/日） ・運動習慣の改善：運動時間を増やす ・睡眠・休養の確保：睡眠時間を増やす ・ストレス解消：趣味を楽しむ時間を作る ・ワークライフバランス：仕事時間の調整、家族や友人との交流
二次予防	<ul style="list-style-type: none"> ・健康診断を受診する：職場の今年健康診断を受診する ・受診する：高血圧に関して医療機関を受診する、適切な医療を受ける ・検査結果：肝機能検査結果に対し必要なことを確認し生活改善を行う

【問題4】妊娠高血圧症候群の看護に関する基礎的知識を問う。

問1

高血圧	尿タンパク
-----	-------

問2

肥満	妊娠高血圧症候群の既往
----	-------------

問3

エネルギー摂取	<p>根拠：日本人の食事摂取基準 30-49 歳・身体活動レベルⅡに見合ったエネルギー必要量 2000 kcal/日に、妊婦後期の付加量 450 kcal/日を合せた 2450 kcal/日が必要なエネルギー量</p> <p>具体的説明：現在までの体重増加量が適正であることから、今後も適正な体重増加が確保できるように、過度の制限はしない。</p>
塩分摂取	<p>根拠：日本人の食事摂取基準に基づく 30-49 歳のナトリウムの目標量 7g/日未満</p> <p>具体的説明：指標の範囲内になるように減塩に努める。</p>

【問題5】 認知症患者の看護に関する基礎的知識を問う

問1

①	見当識障害	②	失行
---	-------	---	----

問2

例	支援目標 なじみのある環境に整える
	具体的な方法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 娘の写真など大事にしているものを患者の周りに置いておく。 ・ 普段自宅で着ている寝衣など慣れ親しんだ物を娘に持ってきてもらう。
例	支援目標 時間や場所がわかるようにする
	具体的な方法 <ul style="list-style-type: none"> ・ カレンダーや時計を患者の目の届くところに置いておく。 ・ 患者の部屋の入口に、患者がわかる目印をつける。
例	支援目標 不安を軽減する
	具体的な方法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 患者の話を否定せず話をよく聞く。 ・ 患者が娘を心配している気持ちを受け止める。
例	支援目標 信頼関係を築く
	具体的な方法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 目を合わせて笑顔で話す。 ・ ゆっくりと落ち着いた声で話す。 ・ 温かい態度で接する。 ・ ボディタッチなど非言語的コミュニケーションを行う。